

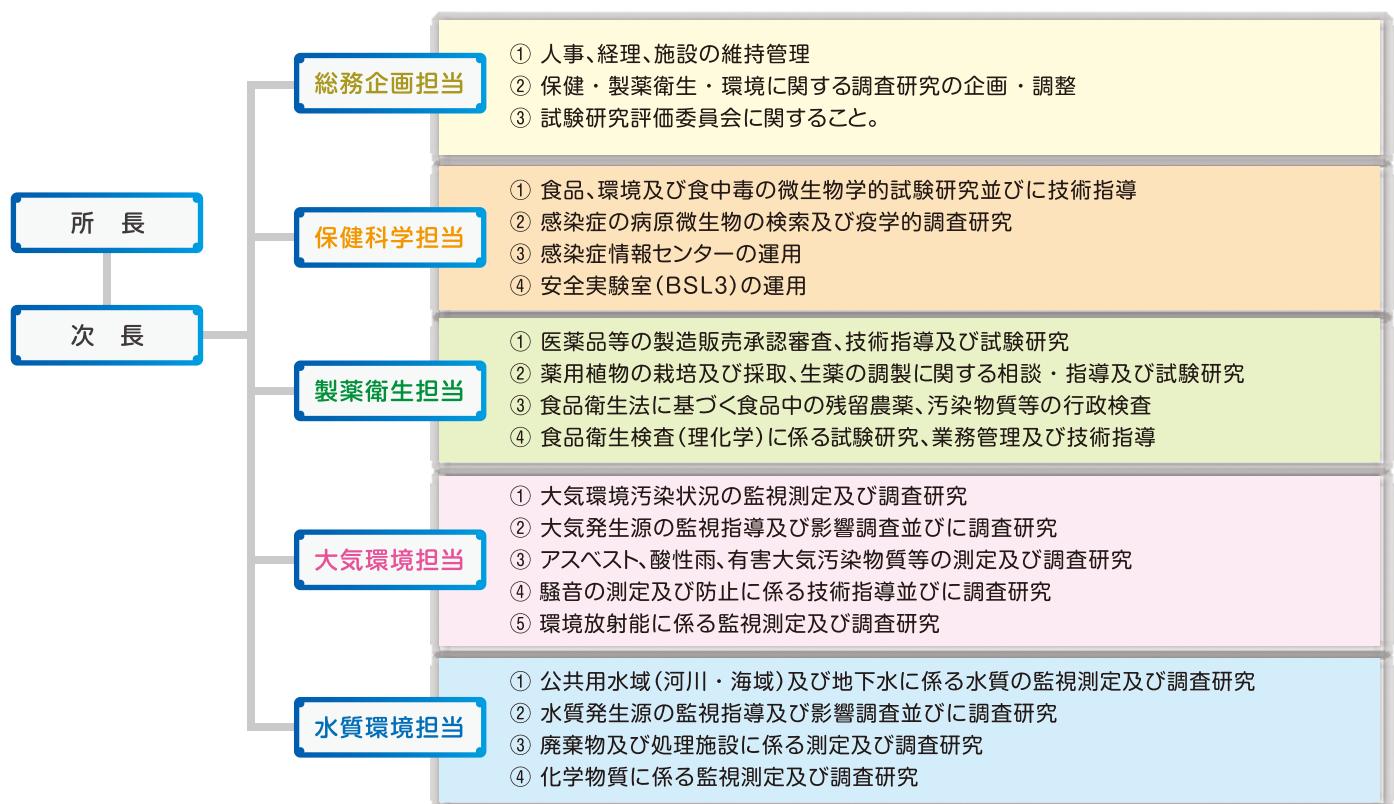
徳島県立保健製薬環境センター



沿革

大正10年	県庁舎内(徳島市幸町2丁目)に警察部の所管として衛生試験所が発足
昭和 5年	県庁舎新築(徳島市万代町1丁目)に伴い、衛生試験所を庁舎西棟に移転
昭和20年	戦災で焼失、戦後県庁舎内に化学試験部門を復旧、細菌部門を徳島保健所に移管
昭和27年 4月	徳島県衛生研究所(改称)を設置、徳島市新蔵町3丁目に2階建新築
昭和34年 1月	徳島県衛生研究所内に製薬試験室設置
昭和38年10月	衛生研究所から製薬試験室が徳島県製薬指導所として独立
昭和39年 4月	徳島県製薬指導所庁舎落成
昭和46年 4月	公害業務の激増に対応するため、衛生研究所に公害第一科、公害第二科を新設
昭和48年 4月	公害試験業務充実のため、衛生研究所に特殊公害科を新設
昭和49年 4月	公害関係が公害センターとして独立、徳島市万代町5丁目に新庁舎完成、公害センター及び衛生研究所が入居
昭和54年 4月	公害センターにテレメータ係を新設
昭和55年 4月	製薬指導所に微生物試験室設置
昭和58年 4月	公害センター及び衛生研究所が統合し、徳島県保健環境センターとして発足
昭和60年 4月	保健環境センターの水質公害科を水質公害第一科と第二科に分科
昭和61年 4月	保健環境センターの大気公害科を大気公害第一科と第二科に分科
平成 元年 4月	保健環境センターのテレメータ係を監視情報科に改称
	製薬指導所の研究科を試験検査科と生葉製剤科に分科
平成 2年 4月	保健環境センターに放射能棟完成
	製薬指導所の試験検査科を医薬品試験科に改称
平成 5年 3月	製薬指導所薬用植物園の新管理棟完成
平成 7年 4月	保健環境センターの大気関係を大気第一科、第二科及び大気生活科に、水質関係を水質第一科、第二科に改称
平成 9年 8月	製薬指導所の庁舎改築・移転
平成11年 4月	保健環境センターに企画情報科及び環境化学科を新設。大気関係を大気科学科、大気監視科及び環境工学科に、水質関係を水質科学科に改組
平成15年 4月	保健環境センターの1係10科体制を見直し、5担当制(総務企画、保健科学、衛生科学、大気環境、水質環境)に改組
平成15年 9月	徳島県感染症情報センターを保健環境センターへ移設
平成23年 4月	保健環境センターを現在地(徳島市新蔵町3丁目)に移転
平成23年 5月	保健環境センターと製薬指導所を統合し、徳島県立保健製薬環境センターを設置
平成24年 4月	総務企画課を総務企画担当、保健科学課を保健科学担当、製薬衛生課を製薬衛生担当、大気環境課を大気環境担当、水質環境課を水質環境担当に改称
平成25年 4月	出先機関から本庁構成機関へ改組

組織及び業務の概要



保健科学担当

感染症・食中毒の原因微生物検査 / 感染症情報センター



細菌検査



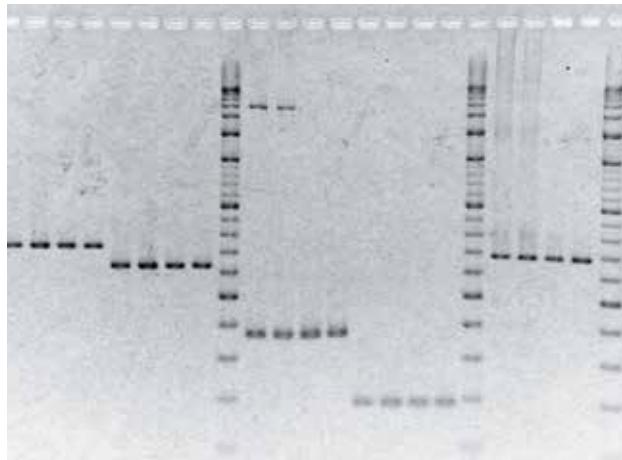
ウイルス検査

感染症及び食中毒の細菌学的検査を行っている。

感染症及び食中毒のウイルス分離や遺伝子検査を行っている。



血清検査



分子疫学的解析

リッカチア感染症や性感染症(HIV、梅毒)の検査を行っている。

VNTR法等により、原因菌の疫学的調査を行っている。



流行予測調査



感染症情報センター

感染症の流行予測調査や発生動向調査を行っている。

感染症の発生動向について、インターネットを活用した定期的な情報発信を行っている。

製薬衛生担当

医薬品等の試験研究・指導 / 食品衛生の理化学試験



医薬品の品質試験

日本薬局方に基づく溶出試験をはじめ、医薬品の品質評価に関する試験を行っている。



医薬品の無菌試験

県内で製造される医薬品の収去試験を行っており、輸液等については、無菌試験も実施している。



薬用植物園

薬用植物に関する研究及び正しい知識の普及を図るために設置し、一般公開している。(徳島市庄町1丁目 JAバンク蔵本公園内)



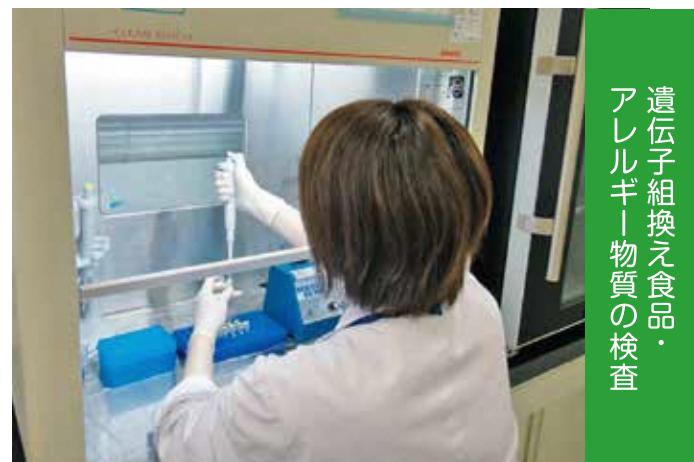
残留農薬試験

ガスクロマトグラフ質量分析計、液体クロマトグラフ質量分析計を用い農産物及び農産物加工品中の残留農薬試験を行っている。



残留有害物質等の試験

高速液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフを用いて、食肉、魚介類中の残留有害物質等の試験を行っている。



遺伝子組換え食品・アレルギー物質の検査

食品から遺伝子又はタンパク質を抽出し、遺伝子組換え食品の含有率やアレルゲンの有無を確認している。

大気環境担当

大気発生源の監視 / 大気汚染の常時監視 /
騒音・振動調査 / 環境放射能の調査



テレメータ中央監視室

環境測定局や移動測定車で測定したデータは、テレメータ中央監視室に収集し、県内の大気汚染状況を常時監視とともに、県のホームページで公開している。



環境測定局

PM2.5や窒素酸化物・オキシダント等の自動測定機や風向風速計等を設置し測定を行っている。得られた測定データはテレメータ中央監視室へ送信している。



移動測定車
「たいきみらい号」

環境測定局の設置されていない地域について大気汚染物質濃度を測定し、測定データをテレメータ中央監視室へ送信している。



ばい煙の調査

工場のボイラー等から排出される排ガス中の窒素酸化物・ばいじん等の測定を実施し、基準値の遵守状況を監視している。



アスベスト調査

アスベスト除去工事による周辺環境への影響を監視するため、大気環境調査を実施している。



有害大気汚染物質調査

ベンゼン・ジクロロメタン等の長時間の暴露により健康に影響をもたらす物質について、大気環境中濃度を測定している。



騒音調査

航空機騒音・自動車騒音などの測定を行っており。



環境放射能の調査

原子力規制委員会原子力規制庁からの委託を受け、空間放射線量・水道水・雨水等の放射能の調査を実施している。

水質環境担当

河川・海域等の環境監視 / 水質汚濁発生源の監視



河川水質検査

公共用水域(河川)の水質汚濁の状況を監視するため、年間を通して採水・分析を行っている。



海域水質調査

公共用水域(海域)の水質汚濁の状況を監視するため、年間を通して採水・分析を行っている。



地下水水質調査

地下水の汚染の発見及び汚染状況の推移等を把握するため、分析を行っている。



工場・事業場等の排水調査

工場・事業場などからの排水による水質汚濁を防止するため、採水・分析を行っている。



産業廃棄物及び最終処分場に
係る調査

産業廃棄物の処理状況及び最終処分場の維持管理状況を監視するため、採取及び採水・分析を行っている。

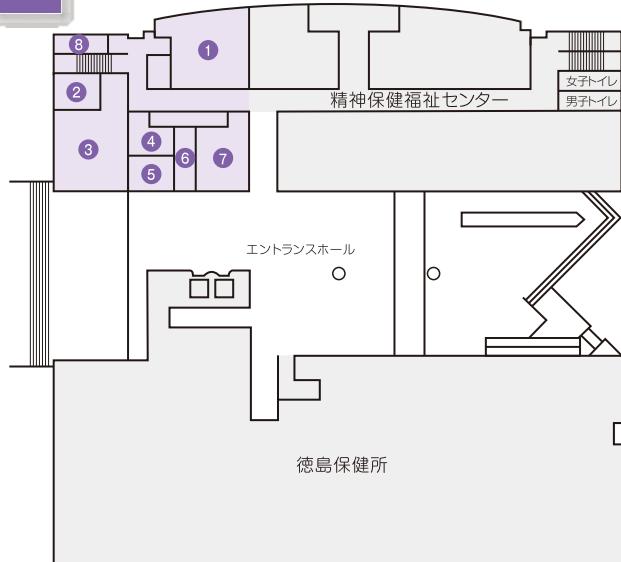


機器分析

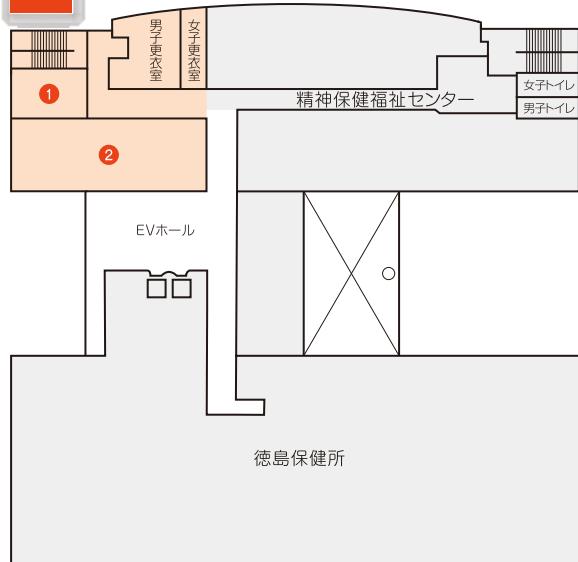
液体クロマトグラフ質量分析計やガスクロマトグラフ質量分析計等を用いて、微量化学物質を測定している。

庁舎平面図

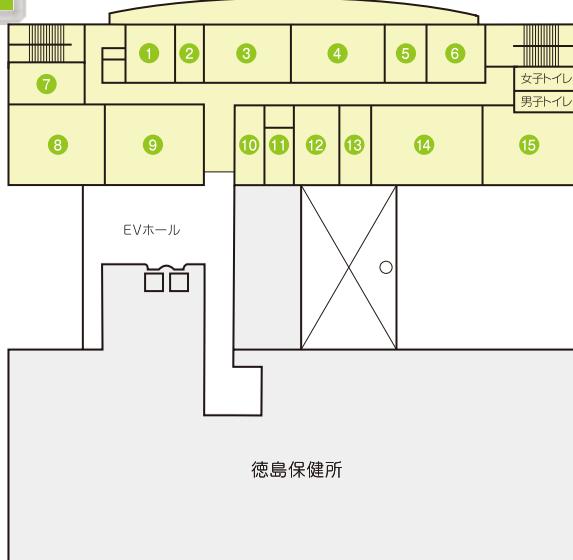
1F



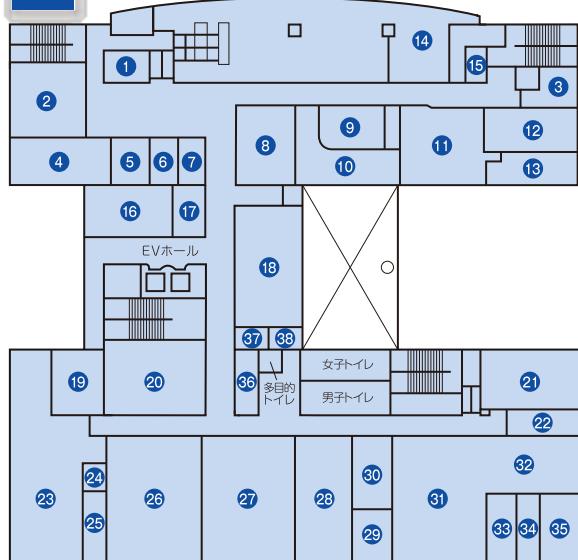
2F



3F



4F



1F	① 製剤試験室 ② 打錠室 ③ 製剤室 ④ 粉碎室 ⑤ 裁断室 ⑥ 乾燥室 ⑦ 粉碎倉庫室 ⑧ ポンベ室
BF	環境放射能 第2測定室

2F	① 所長室 ② 事務室
3F	① 食品第1機器室 ② 食品第2機器室 ③ 食品第1試験室 ④ 家庭用品試験室 ⑤ バイオ試験室(2) ⑥ バイオ試験室(1) ⑦ 食品第2試験室 ⑧ 分析機器室 ⑨ 精密機器室 ⑩ 試薬倉庫 ⑪ 生薬倉庫 ⑫ 器具倉庫 ⑬ 秤量室 ⑭ 生薬試験室 ⑮ 医薬品試験室 ⑯ 洗浄室 ⑰ 血清試験室 ⑱ 無菌試験室 ⑲ 接種室 ⑳ マウス飼育室 ㉑ 遺伝子試験室 ㉒ 無菌室 ㉓ 培養準備室 ㉔ 検体前処理室 ㉕ 細菌試験室 ㉖ 感染症情報センター

① 冷凍保管室 ② ウィルス試験室 ③ 洗浄室 ④ 血清試験室 ⑤ 無菌試験室 ⑥ 接種室 ⑦ マウス飼育室 ⑧ 遺伝子試験室 ⑨ 無菌室 ⑩ 培養準備室 ⑪ 検体前処理室 ⑫ 細菌試験室 ⑬ 感染症情報センター	⑭ 薬用鉢植標本置場 ⑮ 薬草用倉庫 ⑯ 大気データ管理室 ⑰ テレメータ中央監視室 ⑱ 書庫 ⑲ 水質事務室 ⑳ 水質第1器具保管室 ㉑ 大気事務室 ㉒ 一般環境大気測定局 ㉓ 水質第1試験室 ㉔ 水質天秤室 ㉕ 水質細菌試験室 ㉖ 水質第2試験室	㉗ 環境第1機器室 ㉘ 環境第2機器室 ㉙ 環境第3機器室 ㉚ 環境第4機器室 ㉛ 大気第1試験室 ㉜ 大気第2試験室 ㉝ 大気天秤室 ㉞ 環境放射能第1測定室 ㉟ 環境放射能前処理室 ㉟ 水質低温試料保存庫 ㉞ 水質第2器具保管室 ㉟ 環境ポンベ室
--	---	--

徳島県立保健製薬環境センターは、徳島保健所、徳島県精神保健福祉センターと同じ庁舎に設置されている。



交 通

- JR徳島駅から
徒歩15分
 - 徳島市営バス
沖洲方面行 「城東高校前」下車 徒歩3分
津田・新浜・大神子方面行 } 「新蔵町」下車 徒歩3分
東部循環線

徳島県立保健製薬環境センター

〒770-0855 徳島市新蔵町3丁目80番地
TEL.(088)625-7751(代)／FAX.(088)625-1732

徳島県ホームページアドレス
<http://www.pref.tokushima.jp>

電子メールアドレス
hokenseiyakukankyousent@pref.tokushima.jp